

# 観光需要の拡大に向けた取組みについて

## 1 7月25日からの大雨に係る風評払拭・観光需要拡大に向けた取組み

### 【被害等の状況】

- 令和6年7月25日からの大雨は、最上地域の宿泊施設を中心に**観光分野においても浸水等の被害が発生**
- 発災時から8月末までに、**最上・庄内地域を中心に、全体で1万5千人分を超える宿泊キャンセルが発生**

### 【これまでの取組み】

- 道路状況や各種交通機関の運行状況、移動手段や経路等について、**県公式観光サイト「やまがたへの旅」や各種SNSにより情報発信**
- 県外事務所や（公社）山形県観光物産協会と連携し、**首都圏・中京圏・関西圏の旅行会社を訪問**し、本県の観光施設の現状や交通アクセス等について情報提供

### 【今後の取組み予定】

#### ○宿泊施設支援のための割引クーポン発行

最上・庄内地域において宿泊割引クーポンの発行を行うキャンペーンを実施し、大雨の影響が特に大きかった同地域への誘客を図る。

＜実施時期＞

令和6年12月中旬頃～令和7年2月中旬頃（予定）

＜割引額＞3,000円/人泊

#### ○冬の観光キャンペーンの開催

冬季に落ち込む観光客数の底上げを図るため、冬の観光キャンペーンを開催する。

＜開催期間＞

令和6年12月～令和7年3月

＜実施内容（予定）＞

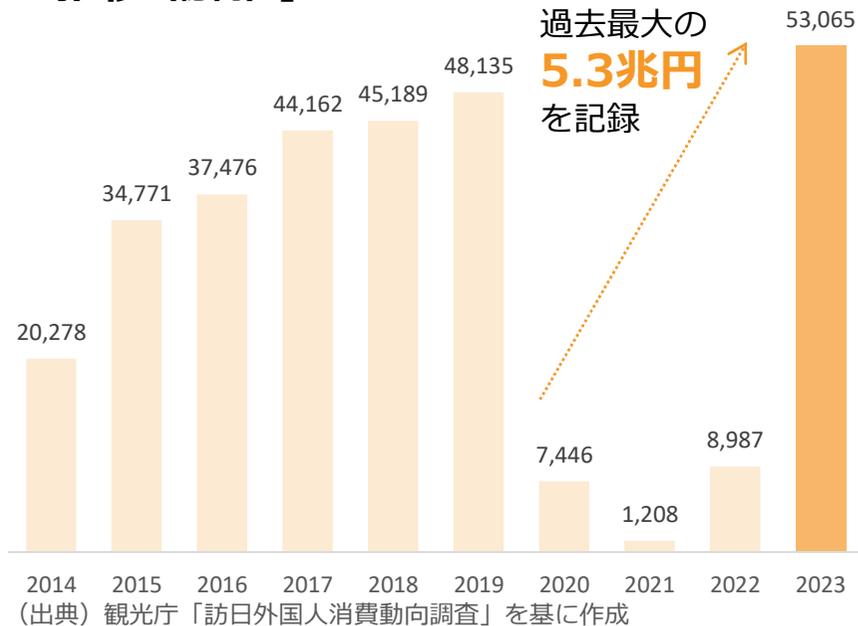
- ・各市町村等が実施する冬のイベント等をまとめた特設サイトの制作、リーフレット・ポスターの作成
- ・県内周遊を促進するための、道の駅や温泉施設、スキー場などを巡るスタンプラリーの実施

★地域ならではの魅力的な観光コンテンツの造成・PRなど、風評払拭と観光需要の底上げのため、共に取組みを進めていただきますようお願いいたします！

# 観光需要の拡大に向けた取組みについて

## 2 高付加価値なインバウンド観光地づくり

【訪日外国人旅行消費額（全国）の推移（億円）】



■着地消費額100万円/人以上の旅行者は、人数ベースでは全体の1%である一方、消費額ベースでは14%を占めているなど存在感は大きい。

【今後の取組み予定】

○地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり事業（観光庁事業）

9月27日  
モデル観光地に  
追加選定！

エリア名：山形エリア（山形県全域）

テーマ：雄大な自然と山岳信仰に由来する固有の精神文化

申請主体：やまがたインバウンド協議会

＜令和6年度の主な取組み＞

- 高付加価値旅行者層をターゲットに据えた観光コンテンツの造成（県事業）
- 高付加価値な観光地域づくりに向けた各種インタビューやアンケート調査等の実施、調査結果を踏まえた本県観光のあるべき姿や受入に向けた課題等についての整理
- 上記を踏まえた今後の取組み方針「マスタープラン」の策定

★外国人旅行者層にも響く質の高い観光コンテンツの磨き上げや外国語表記といった受入態勢の整備など、高付加価値なインバウンド観光地づくりに向け、共に取り組んでいただきますようお願いいたします！